



ごあいさつ



女性医師の会会長
相馬 葉子

男女共同参画（gender equality）とはどういったことを目指すのでしょうか？ある方が「多様性を認めること」と提案されていました。出産してすぐフルタイムで働きたい女性医師もいれば、少し仕事をセーブしたいという女性医師もいます。男性医師でも育児に時間を割きたい方もいます。介護やご自身の病気などで仕事量を減らすもしくは休職される方もあります。それぞれの医師が自身の希望する形で仕事を継続できるよう、様々な要望に対応できる支援や制度の構築を進めなくてはなりません。女性医師の会では性別に関わらず、皆さんが「働きやすい」そして「働きたい」職場で良い医療を行えることを目指し活動しています。是非ご意見をお寄せ頂き、一緒に活動して頂けたらと思っています。

女性医師の会入会案内

名称は「女性医師の会」ですが、男性医師の入会も歓迎致します。女性医師が働きやすい環境とは男性医師にとっても働きやすい環境でなくてはなりません。一緒に考えていきませんか。入会を希望される方は入会申込書を県医師会ホームページに掲載していますので、必要事項をご記入の上FAX（078-231-8111）またはメール（w-entry@hyogo.med.or.jp）でご送信下さい。

★女性医師の会の年会費は無料です★

イクボス大賞

兵庫県医師会では、男女とも仕事と生活の両立を達成できるよう、部下のワークライフバランスとキャリアの継続に配慮し、良好な職場環境の構築に貢献している上司、管理職をイクボスと呼び、平成30年度よりイクボス大賞を創設して表彰しています。今回からは対象を県内全ての病院に広げています。「この先生こそイクボス！」と思われる方を是非推薦して下さい。応募期限は4月3日（金）、表彰は7月18日（土）開催のフォーラムで行われます。



新専門医制度のカリキュラム制について

新専門医制度では年次ごとに定めた研修プログラムに従って、基幹施設と関連施設を移動する循環型の研修により、指導医が継続的に研修の状況を把握できるプログラム制を取っています。しかし、一定期間一定の施設で集中的な研修を受けることが困難な専攻医が「カリキュラム制」へ変更できる方向で動いています。カリキュラム制の対象者は特定の地域で一定期間の診療義務がある専攻医、出産・育児・介護で休職する専攻医、その他合理的な理由がある場合とされています。また、一度カリキュラム制へ移行した場合プログラム制への移行はできません。履修単位はフルタイムの労働時間換算で1か月を1単位とし、プログラム制の標準研修期間が3年ですので、36単位以

上が目安となり、フルタイム勤務ができない場合は短時間勤務などの時間数に応じて1単位を計算していく方向です。

講演会等での託児サービス

県医師会・郡市区医師会が主催の講演会等では、託児ルームの場所代やシッターの委託料を日本医師会に全額補助して頂けます。開催者は託児希望の有無をご確認の上、県医師会または郡市区医師会に申請して下さい。育児中の医師が十分に研修を継続できるよう、ご協力宜しくお願い致します。

女性医師支援窓口

出産・育児・介護・復職・転職・再研修・勤務環境・その他悩み事をお持ちでしたら、県医師会の先輩医師がご相談にのります。ご相談内容の情報は相談事業以外には使用せず、個人情報保護は厳守させて頂きます。ホームページに案内と申込用紙を掲載していますので、お気軽にご相談下さい。

●相談受付

電話：078-231-4114 月曜日と火曜日
午前9：00～12：00
FAX：078-231-8111 随時受付
E-mail：josei-ishi@hyogo.med.or.jp 随時受付
面談：要予約

離・退職中の医師の再就業支援

離・退職されている医師で、復職を考えているがその前に再研修されたい方は、研修終了後は県内の医療機関に勤務して頂くことを条件に、80時間の病院研修を無料で受けて頂けます。

ベビーシッター費用の一部負担

子どもの急な発熱や時間外勤務でベビーシッターを利用された際は、その費用を一部負担致します。条件等詳しくは県医師会にお問合せ下さい。

病院訪問

研修医・勤務医が多数おられる病院を訪問し、情報提供と研修医・勤務医の現状把握・意見の収集に努めています。現在すでに20病院を訪問させて頂きました。今までの訪問で沢山のご意見・ご要望を頂き、大変参考になっています。今後ご協力をお願い致します。

第13回兵庫県女性医師の会研修会

令和2年2月1日兵庫県医師会館にて第13回兵庫県女性医師の会研修会を開催致しました。

「若手医師のキャリア支援とイクボスの重要性」の演題で広島大学医学部附属医学教育センター教授 蓮沼直子先生にご講演頂きました。

キャリア教育では自己を良く知ると同時に価値観に多様性があることを知ること、様々なリソースや制度を知り、多くのロールモデルと出会うこと、コミュニケーション能力のトレーニングをすることなどが大切である。ボスは個々のスタッフの事情をしっかりと把握し、その事情に応じたサポートを提供しながら、望んでいる場合はチャレンジ性のある仕事などの機会を与えることなどが望まれる。キャリアに一つだけの正解はなく、多様性への対応が肝要である。

詳しくは県医師会報に掲載致しますのでご一読下さい。
(文責 相馬葉子)

兵庫県医師会男女共同参画推進委員会

相馬 葉子	大江与喜子	大石麻利子	飯島 尋子
宮本由紀子	木村 智子	若栄 徳彦	中村 陽子
横田 光	林崎 緑	大内佐智子	小林 成美
上月 清司	奥窪 明子	後藤 倫子	岡本 泰子

担当役員

松本 卓	橋本 彰則	難波 光義	宮地 千尋
小野 一広	平林 弘久		

〒651-8555

神戸市中央区磯上通6-1-11 兵庫県医師会内
電話 078-231-4114 FAX 078-231-8111